

近畿地方整備局 入札監視委員会（平成30年度第一部会第1回定例会議）審議概要

開催日及び場所	平成30年6月13日（水） 大阪合同庁舎第1号館 第一別館 大会議室					
委員	神田 彰 （(公社)関西経済連合会 理事 今回抽出担当） 木村 亮 （京都大学大学院 教授） 熊谷 礼子 （帝塚山大学 教授） 高橋 司 （勝部・高橋法律事務所 弁護士 第一部会長） 横田 直和 （関西大学 教授） （五十音順、敬称略）					
審議対象期間	平成30年1月1日 ～ 平成30年3月31日					
抽出案件	総件数8件（工事4件、業務3件、役務及び物品1件）					
契約方式	件数	件名	契約日	契約業者名	契約金額	
工 事	一般競争入札 (WTO 対象)	1 件	付替県道11号橋工事	H30.1.24	東亜・ドービー異工種建設工事共同企業体	1,420,200,000
	一般競争入札 (WTO 対象外)	3 件	大津信楽線新6号橋上部工事	H30.1.25	(株)駒井ハルテック	233,572,000
			大和川河川事務所庁舎機械設備新設工事	H30.3.7	浦安工業(株)	145,800,000
			国道9号美方地区防災工事	H30.3.30	福井建設(株)	67,932,000
業 務	簡易公募型競争入札	1 件	猪名川下流流量観測業務	H30.3.13	(株)淀川アクテス	12,420,000
	通常指名競争入札	1 件	大阪湾岸道路西伸部神戸東部地区幅杭設置測量業務	H30.3.12	(株)キミコン	1,480,000
	簡易公募型プロポーザル	1 件	淀川管内水辺活性化推進業務	H30.1.24	(公財)リバーフロント研究所	17,604,000
役務及び物品	一般競争入札	1 件	近畿技術事務所全天候型ドローン購入	H30.2.23	(株) amuseoneself	5,724,000
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問			回 答		
	別紙のとおり			別紙のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし					

意見・質問	回答
<p>【報告事項】</p> <p>■ 四半期毎の発注状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 指名停止措置の運用状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「猪名川上流流量観測業務」と「猪名川下流流量観測業務」の一括審査方式で、「猪名川下流流量観測業務」の入札説明書等の交付を受けずに参加申請書を提出し、競争参加資格が認められなかった A 社は、もう一方の「猪名川上流流量観測業務」では応札をしたのか。 ・通常は、入札説明書等をダウンロードしなければ、入札説明書の内容を知りようがないので、入札説明書の交付を受けずに申請すれば、同業者等との談合の疑義が生じる。 しかし、本件のような一括審査方式の場合は、片方の入札説明書等をダウンロードすれば、もう片方の入札説明書等の内容も自ずとわかる。本件は、通常の談合疑義と異なり、談合の疑義案件として、公正取引委員会や警察へ報告する必要のない案件ではないのか。 「誓約書徴収後、入札手続を継続した」とあるが、どういう趣旨の誓約書となっているのか。 <p>■ 談合情報等の対応状況資料報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 再度入札における一位不動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■ 低入札調査対象工事・業務の発生状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 社は、「猪名川上流流量観測業務」については、入札説明書等の交付を受け、応札した。 ・ 本件は、入札説明書等の技術資料をダウンロードせずに技術提案書等の資料が提出されていないかという談合の疑義の基準に基づく手続きである。 談合疑義調査を行い、その後、全社から、入札心得の規定に抵触する行為は行っておらず、入札心得を遵守するという内容の誓約書を徴収した。

報告については了承する。

【審議】

■抽出案件結果報告

■抽出案件説明及び審議

● 1. 一般競争入札方式(WTO 対象)

(付替県道 1 1 号橋工事)

・ 予定価格超過の業者が多い理由は何か。

・ 技術評価点が高くかつ入札金額が他者よりも 1 億円も高い業者と、技術評価点が低くかつ入札金額が 1 億円も安い業者の何が違うのか。入札金額が 1 億円も安い業者を抑えて落札した技術評価点の高い業者の技術力が評価に反映されるということがよくわからない。

・ 先程説明があったように、福井県は北陸新幹線等により、コストが上がっている。予定価格にはそのようなことが盛り込まれているのか。

仮に盛り込まれておらず、そのような現象があるとすると、技術評価点ではなく、入札価格だけで落札者が決まってしまうようなことになりかねない。

・ 福井県は、北陸新幹線、近畿地方整備局が行っている中部縦貫自動車道、足羽川ダムなど公共工事が多く発注されており、地元業者、下請業者が確保できないケースがある。県外の業者に見積を取ると、宿泊費などが加味されて下請代金が高くなり、コンクリート、鉄筋等も高騰傾向にあることから、予定価格超過した業者はそれらの価格を考慮し入札されたと考えている。

・ 総合評価方式で技術提案の部分を見ることと構造物の出来映えとの関係についてであるが、目的物ができないということからすれば、技術評価点の低い業者も、ものとしてきちんと納めてくれるという蓋然性はある。

しかし、要求しているものが納められたとしても、さらに、今後につながる技術の採用であるとか、そういうものに意欲的に取り組んでいるとか、工事を行うときに周辺への騒音とか排水等の迷惑を極力抑えるようにする施工上の工夫をすところなどを高く評価している。

・ 予定価格は、積算時点の単価を採用している。

実際、労務者や資材の単価が高騰し、実態に合わないものがあると、若干タイムラグが生じる可能性はあるが、翌月にしっかり見直している。

<p>・本件は了承とする。</p> <p>● 2. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (大津信楽線新 6 号橋上部工工事)</p> <p>・発注形式に、「若手・女性チャレンジ型」とあるが、どの点が若手・女性チャレンジになっているのか、どのように評価するのか。</p> <p>・監理技術者の平均年齢の統計や技術者に女性が占めている割合を全国でも、近畿でもいいので、公表されているデータはあるのか。</p> <p>・若手と女性は同時の取組であるか、それとも別々のチャレンジ型もあるのか。</p> <p>・本件は了承とする。</p>	<p>・申請者には「施工計画」の提出を求めており、その中で、「①工事施工上の留意点」等において、若手・女性を配置する場合は留意点として「企業としての支援体制」を記述し、加算点の合計が 10 点となる。一方、若手・女性技術者を配置しない場合は満点であっても 8 点となり、若手・女性を配置した場合の満点より 2 点低くなる。</p> <p>また、「施工能力等」の評価では、40 歳以下の若手技術者及び女性技術者を監理技術者又は主任技術者として配置する場合は、最大 10 点を加算することとしている。</p> <p>若手技術者を育成する、女性の活躍の場を拓けていくという姿勢で配置する際、企業としてどのように支援するか記述してもらい、構造物の品質も確保しようというものである。</p> <p>・監理技術者は、若手のボーダーラインが 40 歳以下ということで、若手チャレンジという取組をしているが、技術者の平均年齢は 40 歳は超えており、50 歳までの間で、どちらかというとも 50 歳に近い。</p> <p>また、女性技術者の割合は全技術者のうちの 1 パーセント切るか切らないかという程度である。</p> <p>鋼橋の場合は、工場製作もあり、一般土木に比べて女性が多い。</p> <p>若手については、鋼橋だけではなく、一般土木でも配置する企業が多くある。</p> <p>・「若手・女性チャレンジ型」は、若手又は女性の技術者の現場登用を高く評価する評価型式である。</p> <p>昨年度までは、「若手チャレンジ型」と「女性活用型」も試行実施していた。</p>
--	---

<p>● 3. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (大和川河川事務所庁舎機械設備新設工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査の特別重点調査というのは、異例なところか。 ・今回のようにヒアリングをして、資料をチェックするのは、大変な労力を使うのではないか。 ・金額的にこれでは施工できないという枠があり、業者に施工できるか聞くのか。 ・本件は了承とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式における施工体制確認において、調査基準価格未満の場合、追加資料の提出を求め施工体制の確認を行うが、通常、ほとんどの企業が追加資料の提出を辞退している。今回の場合、当該業者は追加資料を提出されたが、提出資料に不備があり、施工体制確認の評価点が低かったにもかかわらず、入札価格が非常に低かったことから、落札予定者となり低入札価格調査(特別重点調査)に入ったということである。 ・今回のケースの場合は、施工体制の確認の追加資料にも不備があったわけだが、例えば、在庫とかかえていて、設備などにはほとんどお金がかからず、工事だけすればいいという場合がある。体制も組んでいて、安い価格で入札された企業に対して、きちんとしたものができれば問題ないということであり、最初から、低入札だからと排除することはせず、確認するべきだと思っている。 ・施工体制の確認業者が追加資料を提出するということは、十分受注意欲があるということである。その受注意欲に対して、実際に品質が確保できるかということを確認する。施工体制確認の追加資料が提出され、その後、低入札価格調査(特別重点調査)を行った結果、品質確保等の確認ができなかったということである。
<p>● 4. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (国道9号美方地区防災工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加業者の地域が限定されており、談合の危険が高まるように考えられるが、そのあたりの基準について確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格要件の1つとして、地域要件を設けているが、今回の場合、予定価格が6千万円台であることから、発注事務所管内の市町にある業者を要件とし、求める実績のある業者数がどれだけあるか確認したところ、十分競争性が確保できるということで、こ

<p>・本件は了承とする。</p> <p>● 5. 簡易公募型競争入札方式 (猪名川下流流量観測業務)</p> <p>・技術資料の評価結果で、技術提案評価点が、参加者全員が 60 点中 60 点である。業務の性質上、大きなばらつきがないということかもしれないが、差がないわけではないと思う。全員が 60 点中 60 点と同じ点数であるという意義について、疑問に思う。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 6. 通常指名競争入札方式 (大阪湾岸道路西伸部神戸東部地区幅杭設置測量業務)</p> <p>・本件は、落札率がかなり低いのが、何か要因があるのか。</p> <p>・もう 1 者も低い入札価格で、一方で高い価格の業者もあり、入札価格に差があるように思うが。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 7. 簡易公募型プロポーザル方式 (淀川管内水辺活性化推進業務)</p> <p>・川づくりやまちづくり等の分野は、企業や役所も重要だが、第三の局のような NPO 団体も建設コンサルタント登録できるので、資格要件を見ると入って来れそうな感じがする。NPO にも参加できる門戸を開くようなことも考慮していただければと思う。</p>	<p>のような条件で発注している。</p> <p>・この業務は、総合評価方式業務能力評価型で、参加業者が業務を正しく理解し、実施手順を踏まえた工程表が記載されていれば、全員 60 点、記載されていない場合は 0 点となり業務を受注する資格がないという評価の方式をとっている。</p> <p>・この業務は、予定価格が 277 万円であり調査基準価格を設けていない。総合評価落札方式の履行現実性の確認という行為も行っていない。</p> <p>本件の落札率が低い要因は、測量業務はほとんどが人件費ということで、落札業者の受注意欲が高かったとか、会社の手持ち業務量を考慮し、企業努力で入札されたと推測する。</p> <p>・会社のもうけがなくても、技術者を遊ばせておくよりは、仕事を取った方がよいという考え方をしているのかもしれない。</p> <p>・優良な NPO や河川法に河川協力団体というものがあり、そのような中から入っていただけるか、工夫をしてみたい。</p>
--	---

<p>・今回の業務は規模が大きいですが、もう少し小さな業務であれば、NPOが入っているものがあるので、検討していただきたい。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 8. 一般競争入札方式 (近畿技術事務所全天候型ドローン購入)</p> <p>・風速が 20m/s でも飛行・撮影可能という条件のドローンで、落札金額が 530 万円というのは、直感的に高い気がする。</p> <p>・開発は 2 チーム (5 者) がプロジェクトに参加したとのことだが、参加申請が 1 者で他の 4 者はどうなっているか説明していただきたい。1 者であれば、入札ではなく、随意契約ではないかと思う。</p> <p>・審議事項についてはすべて了承とし、審議事項については終了とする。</p>	<p>・今回の評価にも、一部に地域特性を与条件とし、地域性が高い場合に優位に評価している。かわまちづくりの実績を如何に評価できるかということ課題を考えていきたい。</p> <p>・風速が 10m/s であれば、30 万円くらいで購入できる。当該ドローンは、全天候型で、本省主導で、「革新的河川管理プロジェクト」として技術開発の観点から民間企業が 5 者参加し実装化したものである。</p> <p>初期段階なので、技術開発費も組み込まれていると思われ、今回は 1 者の参加であったが、これから他者も参入すれば、もう少し金額も下がると思う。</p> <p>・今回のプロジェクトは 5 者が 2 グループに別れて参加している。ハード系と、ソフト系がそれぞれが持つ有用な技術を持ち寄って、技術開発を行うというものである。開発は 2 グループが参加し、今回は、第 1 グループのうちの 1 者が手を挙げたということである。この他にも、プロジェクトに参加した 4 者が希望すれば参加でき、革新的開発者 2 グループ 5 者は間違いなく、参加できるということで、一般競争入札方式で発注している。</p>
---	--